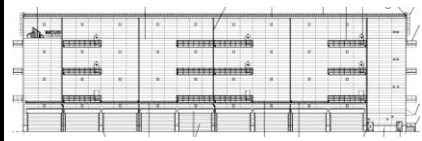


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)座間物流施設計画 新築工事	階数	地上4F
建設地	座間市広野台二丁目4991番1	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法第22条区域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,500時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2016年11月7日
敷地面積	9,132 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	4,869 m <sup>2</sup>	確認日	2016年11月7日
延床面積	18,495 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 71%  
③上記+②以外の 71%  
④上記+ 71%

92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.5

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.6

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 地上部緑化やフェンス緑化を行うことで、地域緑化へ貢献する建築とします。 また、外観の色彩はモルトン系とすることで、周囲の建物と調和することとします。		
<b>Q1 室内環境</b> 該当なし	<b>Q2 サービス性能</b> 耐用年数の長い材料を採用し、建物の維持管理に配慮している。 階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。 緑被率、中・高木の面積率を高くすることにより地表温度や地表付近の気温の上昇を抑制している。
<b>LR1 エネルギー</b> LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 自動水栓や節水型機器を用いるなど、水資源を保護している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率を71%とするなど、地球温暖化への配慮をしている。 広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。 燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される